

イデックスオイルレポート ~For a month~

株式会社新出光

【月次概況】

●第1週、2/6のWTI原油は、先週比0.26ドル高の63.55ドルとなった。
米国とイランは6日、イラン核開発問題を巡る高官協議を中東オマーン的首都マスカットで行った。イランによるウラン濃縮活動停止などについて合意を模索するもので、イランのメディアによると、同国交渉団を率いたアラグチ外相は協議後、「互いの見解を示し、良い協議ができた」と述べ、交渉を続けることで一致したと語った。

●第2週、2/13のWTI原油は、先週比0.66ドル安の62.89ドルとなった。
米イラン間の対立に伴う供給不安や夏場のエネルギー需要拡大に備え、今年1月から停止している増産措置を再開する方向に傾いているもようだとも報じた。

●第3週、2/20のWTI原油は、先週比3.50ドル高の66.39ドルとなった。
トランプ米大統領は20日、イラン核開発問題を巡る同国との協議で圧力を強めるため、限定的な軍事攻撃を検討していると表明。イランへの攻撃の可否を10～15日以内に決めると表明した。

●第4週、2/27のWTI原油は、先週比0.63ドル高の67.02ドルとなった。
米国とイランは26日、スイス・ジュネーブでイラン核開発問題を巡る高官協議を開いた。米国側は核施設3カ所の解体や濃縮ウランの国外搬送を要求し、一方のイランはウラン濃縮の中断や濃縮度の抑制案を示しつつ、あくまで国内での濃縮継続を主張したとされる。双方の立場には依然隔たりがあり、軍事衝突に発展するリスクは消えていないとの警戒ムードがくすぶった。

	2月平均	WTI原油	64.52ドル	前月比	4.26ドル	為替 1ドル	156.13円	前月差	-1.65円
--	------	-------	---------	-----	--------	--------	---------	-----	--------

日付	補助金	変動幅	変動幅
2/1~2/4	17.1/5.0	-0.5	-0.5
2/5~2/11	17.1/5.0	+0.5	+0.5
2/12~2/18	17.1/5.0	+3.0	+3.0
2/19~2/25	17.1/5.0	±0	±0
2/26~2/28	17.1/5.0	+2.5	+2.5

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2025年10-12月C重油決定価格	82,870	86,820	(82,870(メニュー)+ 3,950(プレミアム))
2026年1-3月C重油仮価格	79,180	82,270	(79,180(メニュー)+ 3,090(プレミアム))	
2026年1-3月C重油決定価格			(82,870(メニュー)+ 3,950(プレミアム))	
決定価格 前期比				

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合C重油		A重油	
	2025年10-12月決定価格	92,220	98,500	
2026年1-3月仮価格	87,670			
2026年1-3月決定価格				
決定価格 前期比				

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/kl	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	26/1	9桁速報	65,870	66.74	156.90	-2,264
	26/2	最終予測	65,163	66.49	155.82	-707
	26/3	展望	68,267	70.47	154.00	3,104
	26/4	展望	68,124	71.25	152.00	-143

【次世代エネルギー】 < 水素システム小型化…日立製作所、高電圧絶縁配管を開発 >

日立製作所は25日、水電解による水素製造システム向けに、10キロボルト級の高電圧に対応する絶縁配管技術を開発したと発表した。水を水素と酸素に分解する「水電解スタック」に、電力系統から送電された高電圧を直接給電できるようになる。従来システムと比べ変圧器などの数を大幅に減らせるため、100メガワット級の想定で設置面積を最大50%削減できる。2020年代後半にメガワット級、30年代以降に100メガワット級システムの社会実装を目指す。

従来システムは、水素爆発などのリスクを避けるため、電力系統からの高電圧を段階的に低電圧に変換して稼働する。変圧器などが多数必要で設置面積が大きくなるため、スペースの確保が大きな課題となっている。

今回、日立は高電圧インバーターの知見や絶縁技術を応用し、高電圧下で水素ガスや水が混在した状態でも異常が発生しない多層樹脂構造の絶縁配管(写真)を開発した。同配管を採用した80キロワットの実証システムを用いて試験を行い、性能を確認した。世界初の成果という。今後、国内外の企業や研究機関と連携し実用化を目指す。

再生可能エネルギー由来の電力で製造されるグリーン水素は、余剰電力の有効活用手段や、電力系統の需給調整の担い手として期待が高まっている。

【次月価格変動要因】

エネルギー: イラン情勢緊迫による供給不安と増産の動き
米国とイスラエルの共同作戦により最高指導者ハメネイ師が殺害され、イランは重大な権力の空白に直面している。革命体制が揺らぐ中、イランが「禁じ手」とされるホルムズ海峡の完全封鎖に踏み切るリスクが高まっている。サウジアラビアやOPEC+が増産を検討しており、米国の攻撃が短期に留まれば価格上昇は一時的となる見通しである。

米国経済: 堅調な景気指標の一方で、金融政策とAI投資に不透明感
雇用やPMIなどの経済指標は底堅いものの、AI投資への過熱感による株価の停滞や、FOMC議事要旨で示された「将来的な利上げ転換」の可能性(タカ派姿勢)が市場の重しとなっている。

欧州・中国: 政治的不確実性と構造的課題の継続
欧州ではフランスの政局不安やラガルド総裁の早期退任観測がリスクとなる一方、中国では内需不振を補うための「デフレ輸出」やEV輸出が拡大しているが、不動産不況やインフラ依存の景気構造が依然として課題である。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	90	83
Average	80	73
Low	70	63

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	92	85
Average	78	71
Low	65	58

ニュースイッチ

日付	国	3月経済指標カレンダー	日付	国	3月経済指標カレンダー
2	米国	2月ISM製造業景況指数	13	米国	1月個人消費支出
3	ユーロ	2月消費者物価指数	18	ユーロ	2月消費者物価指数
4	米国	2月ADP雇用統計	18	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表
4	米国	2月ISM非製造業景況指数	18	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見
6	ユーロ	10-12月期四半期域内総生産	19	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
6	米国	2月非農業部門雇用者数変化	19	ユーロ	欧州中央銀行(ECB)政策金利
6	米国	2月失業率	19	ユーロ	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見
6	米国	2月平均時給	24	日本	2月全国消費者物価指数
6	米国	1月小売売上高	25	日本	日銀・金融政策決定会合議事要旨
10	日本	10-12月期四半期実質国内総生産	31	ユーロ	3月消費者物価指数
11	米国	2月消費者物価指数			